

SD エンターテイメント株式会社



2020年3月期 第2四半期決算説明資料

2019年11月13日（水）

SDエンターテイメント株式会社
代表取締役社長 平川 真淳
(東京証券取引所JASDAQ 証券コード4650)

2020年3月期第2四半期 ハイライト

ハイライト

■ 前期からの構造改革継続

既存店舗の業態変更、リニューアル、中核となったウェルネス事業で地域貢献

■ 24時間フィットネスジム展開

2019.8.1 オープン
札幌白石店

2019.10.13 オープン
ディノスカフェ天六店併設

■ オンラインクレーン 会員大幅増

会員数166%増 (今期本登録会員数) ※前年同期比

■ 保育事業 堅調に推移中

利用者数 206名から366名へ ※前年同期比

2020年3月第2四半期業績

連結損益

エンターテイメント事業譲渡(2018/12月)により、売上規模は縮小するも各利益は改善

単位：百万円

	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	増減額
売上高	4,025	2,325	▲1,700
売上総利益	3,263	2,100	▲1,163
販売管理費	3,251	2,014	▲1,236
営業利益	12	85	72
経常利益	▲57	54	112
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲206	17	223



要因コメント：前期に比べ原価及び設備投資関連費用見直し利益率上昇
営業利益率 3.36%UP

セグメント損益①

※運営方法の見直し効果、販売費の効果的投入により増収傾向

※前年同期比となります。

<p>ウェルネス事業 フィットネス、保育、 介護・療育</p>	<p>保育9開園による売上増とフィットネス販促コストコントロールによる効果で</p> <p>売上高 107.1% 営業利益 119.7%</p>
<p>クリエイション事業 オンラインクレーンゲーム インターネットカフェ</p>	<p>#とれたね好調による売上増の一方でネットカフェリニューアル休業があり</p> <p>売上高 128.4% 営業利益 96.5%</p>
<p>不動産賃貸事業 北海道主要都市施設</p>	<p>テナント誘致増による売上増と建物管理内製化によるコストコントロールで</p> <p>売上高 147.8% 営業利益 117.4%</p>

セグメント損益②

当第2四半期までの主な増減理由

※数値は前期比較となります。

単位：百万円

	売上高 影響額	営業利益 影響額	特別損益 影響額
1. ウェルネス事業			
保育園開園（9園）による影響	203	—	—
フィットネス店舗閉店による影響	▲27	36	—
2. クリエーション事業			
オンラインクレーンゲーム売上増加による影響	126	6	—
インターネットカフェ店舗閉店による影響	▲51	15	▲1
既存店リニューアル休業による影響	▲16	▲15	—
3. その他			
不動産賃貸事業による損益の影響	54	18	—
エンターテインメント事業譲渡による影響	▲2,005	30	41

連結B/S

自己資本比率は前期末に比べ順調に改善（28.1%）

単位：百万円

資産の部 (主要項目抜粋)	前期末	2Q末	前期比較	負債の部 (主要項目抜粋)	前期末	2Q末	前期比較
流動資産	2,270	1,540	▲729	流動負債	3,506	3,026	▲480
（現金及び預金）	1,349	700	▲648	（短期借入・一年内返済長期借入・社債）	1,535	1,946	410
（売掛金）	269	456	186	（その他流動負債）	1,970	1,079	▲890
（その他流動資産）	650	382	▲267	固定負債	2,526	2,149	▲377
固定資産	5,730	5,628	▲102	（社債・長期借入金）	2,201	1,851	▲349
（有形固定資産）	4,426	4,470	43	（その他固定負債）	325	297	▲27
（無形固定資産）	193	161	▲31	負債合計	6,033	5,176	▲857
（投資その他の資産）	1,110	996	▲114	株主資本	2,003	2,020	17
繰延資産	41	35	▲6	純資産合計	2,009	2,027	18
資産合計	8,042	7,203	▲838	負債・純資産合計	8,042	7,203	▲838
				自己資本比率	25.0%	28.1%	-

事業総括

エンターテインメント事業譲渡(2018/12月)により前期比較で売上高減少も積極的に取り組んでいる構造改革により利益体質へ転換。第3四半期以降は更なる成長に向け進捗中。

▶ 販売費及び一般管理費減少

前第2四半期 3,251百万円 > 当第2四半期 2,014百万円 (1,236百万円減少)

▶ 自己資本比率改善

前期末 25.0% > 当第1四半期 27.1% > 当第2四半期 28.1%

▶ 事業再編（不採算店舗閉店）による営業利益改善

不採算店舗閉店 売上高：92百万円減少 営業利益：56百万円増加

2020年3月第2四半期 事業別概況

ウェルネス事業 > フィットネス

24時間フィットネスジムへの業態転換

セキュリティ、オペレーションなど24Hジム運営のノウハウを習得。多店舗展開の布石。

2019.8.1 オープン

SDフィットネス24札幌白石店

札幌市白石区南郷通1丁目北8-1 ディノス札幌白石
(地下鉄 東西線 白石 7番出口から徒歩2分)

RECOMMENDED 24時間フィットネスジムTOPクラスの充実度！

SDフィットネス24札幌白石店は、来館から退館までトータルに考え、全てのお客様の快適空間を目指しています。
24時間フィットネスジムで、この施設の充実さは、北海道内でもTOPクラスです。



ウェルネス事業 > 保育

既存保育園に加え、今期開園保育園が順調に推移

9月末時点での園児充足率 **95%**



クリエイション事業 > オンラインクレーンゲーム

事業全体 2Q(7~9月)

売上 **1億500万円** (1Q対比**103%**)



新サービス「#とれたね」の売上伸長
 8~9月のプロモーションにより会員増2万3千人
 9月売上は前月比131%を達成。



クリエイション事業 > インターネットカフェ

老朽店舗改善



店舗の内装を一新、すべてのお客様が様々な空間で楽しめる店舗への変更



ペアブース

完全分煙

フリーWi-Fi

シャワールーム
完備

コミック数
20,000冊以上

雑誌数
100種類以上

2020年3月期 事業計画の進捗

事業構造改革を含む成長戦略に向けて

I. フィットネス

収益店舗のうち老朽化した総合型フィットネスクラブの近隣地への建て替え出店
安定したサービスを提供するために継続的な修繕・改修計画の実施

II. 保育

人材紹介・保育士派遣などの保育周辺事業への参入
店舗運営のノウハウを活かしてのコンサルティング

III. オンラインクレーンゲーム

英語圏・中国語圏に向けた海外向けアプリのリリースを順次展開予定

IV. 組織内の事業生産性及び効率性の向上

企業規模に適した組織のスリム化による意思決定の迅速化

ウェルネス事業 > フィットネス

装置産業からサービス業へ運営方針を転換

今よりもサービスを充実させるための接遇研修
& OJT指導者育成をスタート
更なるサービスレベルの向上を目指す



ウェルネス事業 > フィットネス

『**充実したサービスの提供**』を目指します。



顧客満足

パーソナルトレーニングを展開。目標に寄り添います。

利便性向上

セルフチェックイン導入により、混み合う時間帯



最新プログラムの提供

最新・高品質のバーチャルレッスン導入による営業時間を有効活用したスタジオレッスンができる施設をつくれます。

ウェルネス事業 > 保育

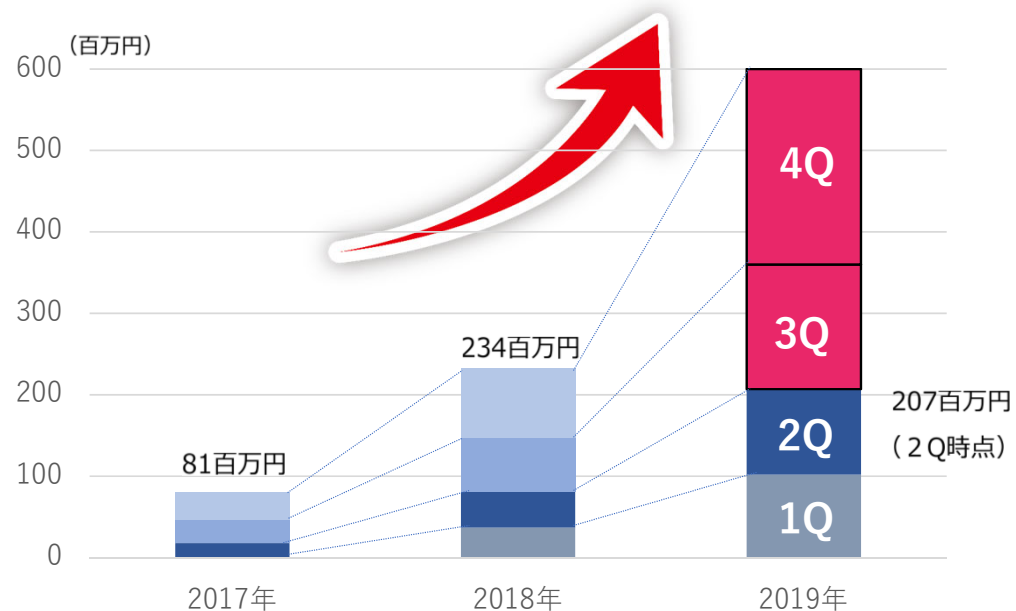
保育園運営のノウハウを活かした新たな展開を予定
地域、社会に貢献



クリエイション事業 > オンラインクレーンゲーム

2019年度 ▶ さらに事業をドライブさせていく

海外展開進行中
2020年1月より
スタート予定



2020年3月期売上

▶ **目標6億円を目指す!**

クリエイション事業 > カフェ事業

新業態への転換

24時間フィットネスとの併設店
2019.10.13 リニューアルオープン



クリエイション事業 > カフェ事業

SD fitness × ネット&コミック Dinos cafe

付加価値をつけたモデル、天六店での実績をベースに業態開発を推進



成功事例を基に様々なタイプの小規模フィットネス複合店舗を展開

免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。